



Global Investment and Innovation Incentives (Gi³) Alert

グローバル・ミニマム課税ルール施行の影響を緩和する ための新たな投資促進措置に関する最新情報

2023年6月

※本ニュースレターは、英文ニュースレターの翻訳版です。
日本語訳と[原文](#)（英文）に差異が生じた場合には、原文が優先されます。

Introduction

タイ投資委員会（以下「BOI」）は、タイにおけるグローバル・ミニマム課税ルールの施行を効果的に支援すると共に、経済協力開発機構（OECD）より公表された税源浸食と利益移転（BEPS）2.0の第2の柱に準拠するために、グローバル・ミニマム課税ルール施行の影響に対する緩和策の立案を任命された。先日、BOIはグローバル・ミニマム課税ルール下における課税の新たなアプローチの影響を和らげるための新たな救済措置の草案を公表した（以下「措置案」）。

What to know?

措置案は、既存の BOI 推進企業と新規企業の両方に適用される。措置案における適格条件と付与される恩典は、以下のとおりである。

| | 既存の BOI 推進企業 | 新規企業 |
|-----------------|--|--|
| 適格条件 | <p>1. 申請者が属する多国籍企業グループの BOI 申請書提出前の会計期間における連結グループ総収入が、以下のいずれかに該当すること</p> <p>1.1 280 億パーツ/ 7.5 億ユーロを以上である場合</p> <p>1.2 (会計期間が 12 カ月未満の場合) 対象の会計期間の日数に基づいて算出した額が 280 億パーツ/7.5 億ユーロ以上である場合</p> <p>1.3 国別報告書 (CbCR) 要件に該当する場合</p> <p>2. 申請者が既存の BOI 推進企業であり、申請対象の活動が措置案適用のタイミングでも適格条件を満たしていること</p> <p>3. 既存の BOI 推進企業の場合、投資促進に申請する時点で、申請者が追加インセンティブ措置 (例：効率向上措置など) を受けていないこと</p> <p>4. 申請者は少なくとも 1 年以上の法人税の免税期間を有しており、法人税の累積免税額が上限額に達していないこと及び申請者は BOI が定める手続を順守すること</p> | <p>1. 既存の BOI 推進企業における条件 1 (左記) と同様</p> <p>2. 申請者の申請対象の活動が措置案適用のタイミングでも適格条件を満たしていること</p> |
| 法人税の優遇内容 | <ul style="list-style-type: none"> 申請者は、現在の法人税の免税措置から法人税 50% 減免措置への切り替えを選択することができる 当申請では、既存の BOI 推進プロジェクトに付与された残りの恩典を引き続き享受することができる | <ul style="list-style-type: none"> 申請者は、法人税の免除措置か法人税 50% 減免措置のいずれかを選択することができる 当申請は、その他の税務上の恩典及び税以外の恩典を享受することができる |

| | | |
|------------------------|--|---|
| <p>法人税の優遇期間</p> | <ul style="list-style-type: none"> 法人税の減免期間は、残存する法人税の免税期間（年単位）と、既存 BOI 推進プロジェクトに対して与えられた投資促進法（IPA）第 35 条に基づく法人税の減免期間の合計の 2 倍を超えないものとする 法人税減免の合計期間は、10 年を超えないものとする <p>法人税の減免期間は、次の 2 つの場合に開始される</p> <ol style="list-style-type: none"> 既に 1 回目の収益が発生している場合は、新たな BOI 推進証明書の取得後 収益がまだ発生していない場合は、1 回目の収益の発生後 | <p>法人税免除措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人税の免税期間は、BOI が推進する活動の種類によって 0～13 年の範囲内で決定される <p>法人税減免措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人税の減免期間は、残存する法人税の免税期間（年単位）と、既存 BOI 推進プロジェクトに対して与えられた投資促進法（IPA）第 35 条に基づく法人税の減免期間の合計の 2 倍を超えないものとする 法人税減免の合計期間は、10 年を超えないものとする <p>法人税の免除又は減免の期間は、初めて収益を発生させたときに開始される</p> |
|------------------------|--|---|

備考: 当措置案に基づき BOI によって承認され、投資促進措置が付与された全てのプロジェクトは、他の措置の下で追加の措置を申請することはできない。

What's next?

BEPS 2.0 プロジェクトの第 2 の柱は、デジタル化とグローバル化による税務上の課題に対処するため、対象の多国籍企業に対してグローバル最低税率を導入することを目指している。これにより、優遇税制や免税の広範な利用競争の行き過ぎた進行を阻止することができる。

BOI によるインセンティブパッケージの改正案は、タイが競争力のある投資環境を維持しながら、グローバルな税制改正に適応していく姿勢であることを示している。これは、年初に内閣がグローバル・ミニマム課税の原則を承認したことに続くものである。

多国籍企業の基準に該当する BOI 推進企業及び新規企業は、第 2 の柱によって受ける包括的な影響を検討することが望ましい。グローバル・ミニマム課税の

意義を理解した上で、利用可能な救済措置を探ることで、十分な情報に基づく意思決定が可能となる。企業は、タイでの投資に対する優遇措置を確保するため、措置の切替えの選択を検討及び交渉することができる。

BOI はインセンティブパッケージの改正に積極的な対応をしているものの、歳入局 (Revenue Department) の公式な立場はまだ公表されていないことに留意することが重要である。また、歳入局は、グローバル・ミニマム課税の施行に対応して、International Business Center のような優遇税制の開発に関する公式なアップデートを発表していない。タイ国内におけるグローバル・ミニマム課税に関する税制は現在草案段階であり、2025 年に施行される予定である。

流動的な状況を考慮すると、ステークホルダーは措置案が変更される可能性があることに留意する必要がある。引き続き BOI 及び歳入局からの関連情報のアップデートに注視されたい。

更なる詳細情報やサポートが必要な場合は、デロイトの Gi³ の専門家までご相談いただきたい。

Contacts

本ニュースレターに関するご意見・ご質問は、下記の連絡先までお問い合わせください。

Tax Services

- Anthony Visate Loh, Partner, Tax & Legal Services
Tel: +66 (0) 2034 0112
Email: aloh@deloitte.com
- Korneeka Koonachoak, Partner, Tax & Legal Services
Tel: +66 2034 0122
Email: kkoonachoak@deloitte.com
- Parita Rojdumrongrattana, Senior Manager, Tax & Legal Services
Tel: +66 2034 0000 ext. 13664
Email: projdumrongrattana@deloitte.com

Global Investment and Innovation Incentives Services

- Nu To Van, Partner, Tax & Legal Services
Tel: +66 (0) 2034 0163
Email: ntovan@deloitte.com
- Nont Nijjantra, Manager, Global Investment and Innovation Incentives (Gi³)
Tel: +66 (0) 2034 0000 ext. 12967
Email: nnijjantra@deloitte.com



Dbriefs
A series of live, on-demand and interactive webcasts focusing on topical tax issues for business executives.



Power of With
Focus on the power humans have with machines.



Tax@hand
Latest global and regional tax news, information, and resources.

Get in touch



[Deloitte Thailand](#) | [Add as safe sender](#)

Deloitte refers to one or more of Deloitte Touche Tohmatsu Limited (“DTTL”), its global network of member firms, and their related entities (collectively, the “Deloitte organization”). DTTL (also referred to as “Deloitte Global”) and each of its member firms and related entities are legally separate and independent entities, which cannot obligate or bind each other in respect of third parties. DTTL and each DTTL member firm and related entity is liable only for its own acts and omissions, and not those of each other. DTTL does not provide services to clients. Please see www.deloitte.com/about to learn more.

Deloitte Asia Pacific Limited is a company limited by guarantee and a member firm of DTTL. Members of Deloitte Asia Pacific Limited and their related entities, each of which are separate and independent legal entities, provide services from more than 100 cities across the region, including Auckland, Bangkok, Beijing, Hanoi, Hong Kong, Jakarta, Kuala Lumpur, Manila, Melbourne, Osaka, Seoul, Shanghai, Singapore, Sydney, Taipei and Tokyo.

About Deloitte Thailand

In Thailand, services are provided by Deloitte Touche Tohmatsu Jaiyos Co., Ltd. and its subsidiaries and affiliates.

This communication contains general information only, and none of Deloitte Touche Tohmatsu Limited (“DTTL”), its global network of member firms or their related entities (collectively, the “Deloitte organisation”) is, by means of this communication, rendering professional advice or services. Before making any decision or taking any action that may affect your finances or your business, you should consult a qualified professional adviser.

No representations, warranties or undertakings (express or implied) are given as to the accuracy or completeness of the information in this communication, and none of DTTL, its member firms, related entities, employees or agents shall be liable or responsible for any loss or damage whatsoever arising directly or indirectly in connection with any person relying on this communication. DTTL and each of its member firms, and their related entities, are legally separate and independent entities.

© 2023 Deloitte Touche Tohmatsu Jaiyos Advisory Co., Ltd.